

長中魂



平成29年11月24日(金)

第26号

伊豆の国市立長岡中学校だより
文責 守野 和弘

後期生徒総会「愛される長中を目指して」

11月7日(火)に、後期生徒総会で全校による話し合い活動が行われました。ねらいは、「長岡中学校は、学習でも行事でもよい方向に向かっている。でも、100%の力を全員が出しているか。もっとよい長中になれるのではないか。一人一人がこのことをよく考えてすばらしい長中にしていこう。」というものでした。

小柱1 自分たちが認められている点はどんなところでしょうか。

- 2分前着席などができないとき、クラスで注意し合える。
- 自分の係でなくても手伝える。 ○提出物の提出率がよい。
- 有志活動に積極的に参加している。 など



小柱2 自分たちにできていないことは、どんなところでしょうか。



- 車での送迎が、今年になって増えた。昨年度話し合っ
て徒歩にしようとしたはずだ。
- キーホルダーについても、昨年度話し合っ
て1つという約束をした。そうでない人がいる。
- 朝のあいさつの声が小さい。先生方のあいさつにも
っと大きなあいさつを返した方がよい。
- 給食の準備が遅い。

- 授業と休み時間のけじめがない。もっとしっかりけじめをつける。
- 提出物は、ただ出すのではなく、内容の濃いものにしたい。
- 注意しても聞かない人がいる。人に任せるのではなく、自分で行動できるようにしたい。
など

小柱3 愛される長中にするために、委員会活動などに対して、一人一人がどのようにしていけばよいでしょうか。

- ☆あいさつされる前に、自分からあいさつをすればよい。
- ☆車での登下校はダメ。下で降りる人もいる。地域から愛される長中にならない。
- ☆全員が、当たり前前
の事を当たり前前
にやるのがよい。
- ☆自分は学習委員として2分前着席の呼びかけをするが、それはただき
かけを作っているだけで、全員が参加(自ら判断して行動)しなければ
いけない。 など



<議長のとめ>

大切なのは、委員の人は中心で、それに一部の人が協力するのでは意味がありません。すべての人が、自分でそれになびく心が大事です。一人一人がパズルのピースとなって、すばらしい長中にしていきましょう。

この生徒総会で、多くの生徒が自分の意見を発表、または発表しようとしていました。結論として具体的なものは出てきませんでした。一人一人が「私は長中パズルのピースとしてこれをやろう」と考え、自覚することができた生徒総会となりました。



